

青高伝統の野球部 2021年夏の大会 ～江戸川区球場～

令和3年7月17日（土）午後3時過ぎ、予定より1時間以上遅れて始まった対東京実業戦。初回にいきなり1点先制。6回表には、2アウトながら満塁となり、相手校はついにエースが登板。このエースから三遊間コンビが連続タイムリーで4対0。6回裏に1点を返されましたが、8回表まで4対1のまま。8回裏に2点、9回裏に1点返されて4対4で延長戦に。延長戦では両チーム共に無得点。13回からはタイブレークに突入。13回表に1点得点、その裏に追いつかれ、14回表に3点得点、その裏に追いつかれ、15回表に2点得点し、三たびリード。その裏に3点を返されて、さよならゲームとなりましたが、240球あまりを投げ切ったピッチャーの長谷川君も、常に試合をリードする得点を挙げた打線も、実に見事な試合振りでした。青高伝統の野球部の球史に残る一戦でした。



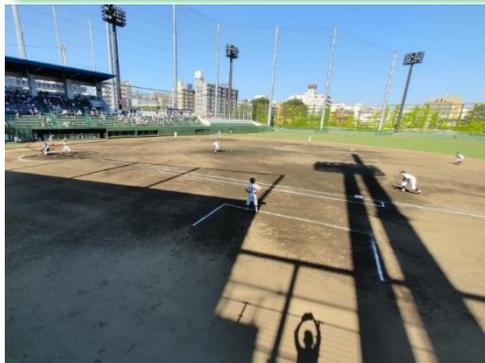
登録選手は、3年生だけでなく、1、2年生も主力を担う、チームワークに優れた青高野球部。 江戸川区球場



この日の第3試合に組まれていた青高対東京実業戦。第1試合が延長戦となったため、試合開始は1時間以上遅れました。



6回表2アウトながら満塁。相手校はエースを投入。このエースから、まずは2点タイムリー！



力投するピッチャーと堅い守備陣！

保護者の皆様のサポートあってこそその戦いぶりでした。4時間あまりの熱戦を終え、皆よい表情をしていました。